



11月15日（金）に4年生が見学旅行で通潤橋と清和文楽館に行きました。

水不足で困っていた白糸台地にどうやって水を送るのか。仕組みを考え、石橋作りの中心となった布田保之助について事前に学習を進めてきました。また山都町（旧・清和村）でひろまった人形浄瑠璃の歴史や、どうやって現代に引き継がれてきたのか、また後継者不足などの課題についても学んできたところです。今回は、自分の目で見て、話を聞いて、肌で感じて学習してきました。子どもたちは今まで学んできたことにふれ、興味をもって説明を聞いたりメモを取ったりしていました。とても有意義な学習になりました。

